

令和6年度 小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第9学年）

テーマ『～余野川の魚を増やそう！プロジェクト～』

池田市立 ほそごう学園

《学習のねらい》

校区を流れる余野川の生態系を守るために自分たちができることを考え、実行、発信することができる。

《学習の流れ》

実施時期 11月 ～ 12月

①余野川の現状について知り課題を発見する

「魚を増やすために必要なことは？」「本当に魚は減っているのか？」

- ・人と自然の会の方から余野川の生態系についてのお話を聞く
- ・細河みどりの郷の方から余野川の変遷と地域との関わりを聞く



②情報の整理と活動計画

「余野川の豊かな生態系を守るために自分たちに何ができるか」

- ・具体的に余野川の魚を増やす方法を考え実行



③情報の発信・課題解決のための行動

- ・文化発表会での「余野川の生態系の豊かさ」や「生態系を守る必要性」の発信
- ・余野川の生き物展示～小さな水族館～
- ・魚道設置にむけた池田市・大阪府土木事務所との意見交流会
- ・環境に負荷の少ない「米ぬか石鯰」の試作・普及



《指導のポイント》

- ・生徒の意見や考えを尊重しながら学習活動を組み立てていく。
- ・生徒が環境問題を自分ごととして考えるために、自分たちの地域について学習したり、自分にできることを考えたりする。

《ゲストティーチャー等》

- ・池田市・大阪府土木事務所の職員
- ・NPO 法人細河みどりの郷
- ・人と自然の会



《成果》

- ・校区を流れる川を題材にしたことで、生徒たちは環境問題や生態系について自分事として考えることができた。
- ・生徒それぞれが環境問題に係る課題の解決策や、地域の魅力発信について考え、提案することができた。